

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成21年8月11日
【四半期会計期間】	第64期第1四半期（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 北村 健
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06)6458-0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務担当 佐藤 貢
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06)6453-4511
【事務連絡者氏名】	取締役総務担当 佐藤 貢
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第63期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第64期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第63期
会計期間	自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	自平成21年4月1日 至平成21年6月30日	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
売上高(千円)	2,017,685	1,806,624	8,140,219
経常利益(千円)	117,332	73,731	620,336
四半期(当期)純利益(千円)	53,148	37,316	384,026
純資産額(千円)	9,582,841	9,822,556	9,841,860
総資産額(千円)	13,081,005	13,584,172	13,870,093
1株当たり純資産額(円)	899.54	943.38	945.01
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	4.99	3.67	36.89
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益(円)			
自己資本比率(%)	73.3	70.6	69.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	191,774	61,244	532,264
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	28,196	6,576	9,250
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	48,918	68,097	251,843
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残 高(千円)	1,227,021	1,697,259	1,710,688
従業員数(人)	211	210	211

(注) 1. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりませ
 ん。

2【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

以下の会社は重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より持分法適用の範囲に含めております。

名称	住所	資本金 (千円)	主要な事業 の内容	議決権の所有割合 又は被所有割合 (%)	関係内容
(持分法適用関連会社) TOA-ISM AUTO REFINISH PAINT LTD.	THAILAND SAMUTHPRAKAM	100,000	塗料事業	21.0	当社製品を主にタイ国を中心に販売

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年6月30日現在

従業員数(人)	210 [26]
---------	----------

(注) 1 従業員数は就業人員であります。就業人員には、当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含みますが、いずれも該当はありません。

2 従業員数の [] は、臨時従業員数を外書しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年6月30日現在

従業員数(人)	207 [9]
---------	---------

(注) 1 従業員数は就業人員であります。就業人員には、当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含みますが、いずれも該当はありません。

2 従業員数の [] は、臨時従業員数を外書しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

生産実績

当第1四半期連結会計期間の生産実績は次のとおりであります。

事業部門の名称	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	前年同四半期比(%)
塗料事業(千円)	814,322	15.8
合計(千円)	814,322	15.8

- (注) 1 金額は標準製造原価によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

商品仕入実績

当第1四半期連結会計期間の商品仕入実績は次のとおりであります。

事業部門の名称	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	前年同四半期比(%)
塗料事業(千円)	336,382	9.2
合計(千円)	336,382	9.2

- (注) 1 金額は仕入価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

主として見込生産によっておりますので、受注ならびに受注残高について特に記載すべき事項はありません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績は次のとおりであります。

事業部門の名称	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	前年同四半期比(%)
塗料事業(千円)	1,806,624	10.5
合計(千円)	1,806,624	10.5

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第1四半期連結会計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年後半以降の世界的な金融危機などを背景とした景気の後退局面の中、企業収益の大幅な減少が続くなど厳しい状況で推移しました。また、雇用情勢や所得環境の悪化が続く中で個人消費は低迷し、経営環境はさらに厳しい状況となっております。

このような環境のもと、当社グループは多様化する顧客のニーズに応える高付加価値製品の開発、環境対応型塗料の新市場の開拓に積極的な営業活動を展開するとともに、さらなるコスト削減策及び生産性の効率化により収益の改善に取り組みました。

しかしながら、この需要減少の影響は大きく、当第1四半期の売上高は18億7百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。また、収益面におきましても、営業利益は49百万円（前年同四半期比44.7%減）、経常利益は74百万円（前年同四半期比37.2%減）となり、四半期純利益は37百万円（前年同四半期比29.8%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の財政状況は、前連結会計年度末と比較して、総資産は2億86百万円減少、負債は2億67百万円減少、純資産は19百万円減少しました。

総資産の増加の主なものは投資有価証券14百万円、保険積立金24百万円で、減少の主なものは現金及び預金1億13百万円、受取手形及び売掛金1億82百万円であります。

負債の増加の主なものは未払金1億77百万円、減少の主なものは支払手形及び買掛金2億65百万円、賞与引当金78百万円であります。

また、純資産の増加の主なものは、其他有価証券評価差額金34百万円、減少の主なものは利益剰余金47百万円であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ13百万円減少し、16億97百万円（前年同四半期末12億27百万円）となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は61百万円となりました。

その主な要因は、増加した資金では税金等調整前四半期純利益74百万円、売上債権の減少1億82百万円などがあり、減少した資金では仕入債務の減少2億48百万円、法人税等の支払額1億31百万円などによるものであります。当第1四半期連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの増加額は、前年同四半期の減少額（1億92百万円）に比べ2億53百万円の増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は7百万円となりました。

その主な要因は、増加した資金では定期預金の払戻による1億円、減少した資金では有形固定資産の取得による70百万円、保険積立金の積立による24百万円であります。

当第1四半期連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローの減少額は、前年同四半期の増加額（28百万円）に比べ35百万円の減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローの減少額は68百万円であり、前年同四半期の減少額49百万円に比べ19百万円の減少となりました。

その主な要因は、配当金の支払額46百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、3千万円であります。

なお、当第1四半期連結会計期間において、当社グループの研究活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設、取得について重要な変更はありません。また、経常的な設備の更新計画を除き、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成21年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成21年8月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	12,000,000	12,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成21年4月1日～ 平成21年6月30日		12,000,000		1,290,400		1,209,925

(5) 【大株主の状況】

当第1四半期会計期間において、北村 健氏及び北村初美氏から平成21年5月20日付の大量保有報告書の写しの送付があり、平成21年5月20日現在で、北村 健、北村 初美の両氏が以下の株式を保有している旨の報告を受け、株主名簿を確認しましたところ、大株主であった北村サト子氏は大株主でなくなり、北村 健氏及び北村 初美氏の所有株式数が以下のとおりとなったことが判明いたしました。

氏名又は名称	住 所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
北村 健	大阪市福島区	2,211	18.42
北村 初美	同上	2,216	18.46

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成21年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,749,000	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 170,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,956,000	9,956	-
単元未満株式	普通株式 125,000	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,956	-

【自己株式等】

平成21年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所 有株式数 (株)	他人名義所 有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
(自己保有株式) イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目 15番24号	1,749,000	-	1,749,000	14.57
(相互保有株式) イサム土地建物株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目 15番24号	170,000	-	170,000	1.41
計	-	1,919,000	-	1,919,000	15.98

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月
最高(円)	290	297	297
最低(円)	290	280	290

(注) 最高・最低株価は、大阪証券取引所市場第二部におけるものであります。

3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,289,259	3,402,688
受取手形	1,265,098	1,328,253
売掛金	987,000	1,106,114
有価証券	4,339	5,839
商品及び製品	871,249	891,877
仕掛品	70,517	74,354
原材料及び貯蔵品	182,306	183,114
繰延税金資産	105,889	134,408
その他	51,789	37,407
貸倒引当金	58,096	87,000
流動資産合計	6,769,350	7,077,054
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,320,639	2,320,639
減価償却累計額	1,064,291	1,043,265
建物及び構築物(純額)	1,256,348	1,277,374
機械装置及び運搬具	327,208	327,208
減価償却累計額	264,865	260,294
機械装置及び運搬具(純額)	62,343	66,914
工具、器具及び備品	355,095	354,870
減価償却累計額	309,325	305,657
工具、器具及び備品(純額)	45,770	49,213
土地	1,288,814	1,288,814
リース資産	72,359	72,359
減価償却累計額	29,292	23,346
リース資産(純額)	43,067	49,013
建設仮勘定	82,979	29,850
有形固定資産合計	2,779,321	2,761,178
無形固定資産		
ソフトウェア	30,876	17,915
施設利用権	9,322	9,552
電話加入権	6,310	6,310
リース資産	3,763	4,256
無形固定資産	50,271	38,033
投資その他の資産		
投資有価証券	2,514,339	2,500,201
長期貸付金	745	797
保険積立金	1,086,084	1,062,042
繰延税金資産	337,700	356,879
その他	74,266	74,909
貸倒引当金	27,904	1,000
投資その他の資産合計	3,985,230	3,993,828
固定資産合計	6,814,822	6,793,039
資産合計	13,584,172	13,870,093

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	88,806	154,188
買掛金	1,319,503	1,519,178
1年内返済予定の長期借入金	52,000	52,000
リース債務	25,833	26,020
未払金	347,997	170,657
未払法人税等	11,004	133,574
未払消費税等	26,855	20,568
前受金	2,849	29
預り金	71,641	61,662
賞与引当金	33,936	112,280
設備関係支払手形	18,217	788
流動負債合計	1,998,641	2,250,944
固定負債		
長期借入金	592,000	605,000
長期預り保証金	266,982	265,244
リース債務	21,313	27,583
繰延税金負債	5,365	2,419
退職給付引当金	613,721	608,587
役員退職慰労引当金	154,052	158,520
修繕引当金	2,500	-
負ののれん	107,042	109,936
固定負債合計	1,762,975	1,777,289
負債合計	3,761,616	4,028,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,209,925
利益剰余金	7,730,775	7,778,131
自己株式	707,550	707,221
株主資本合計	9,523,550	9,571,235
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	72,691	38,986
為替換算調整勘定	3,641	-
評価・換算差額等合計	69,050	38,986
少数株主持分	229,956	231,639
純資産合計	9,822,556	9,841,860
負債純資産合計	13,584,172	13,870,093

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,017,685	1,806,624
売上原価	1,405,222	1,218,401
売上総利益	612,463	588,223
販売費及び一般管理費	524,166	539,420
営業利益	88,297	48,803
営業外収益		
受取利息	3,767	2,574
有価証券利息	10,498	8,675
受取配当金	3,943	2,677
受取賃貸料	3,086	12,588
塗装情報サービス会費	3,492	624
負ののれん償却額	-	2,893
その他	5,208	5,340
営業外収益合計	29,994	35,371
営業外費用		
支払利息	298	5,295
支払補償費	282	156
為替差損	378	-
持分法による投資損失	-	4,991
その他	1	1
営業外費用合計	959	10,443
経常利益	117,332	73,731
特別利益		
貸倒引当金戻入額	15,000	2,000
特別利益合計	15,000	2,000
特別損失		
役員退職慰労金	16,080	1,716
特別損失合計	16,080	1,716
税金等調整前四半期純利益	116,252	74,015
法人税、住民税及び事業税	21,367	8,309
法人税等調整額	41,719	27,614
法人税等合計	63,086	35,923
少数株主利益	18	776
四半期純利益	53,148	37,316

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	116,252	74,015
減価償却費	22,345	37,773
退職給付引当金の増減額(は減少)	6,696	5,133
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	50,429	4,468
賞与引当金の増減額(は減少)	81,823	78,344
役員賞与引当金の増減額(は減少)	12,500	-
修繕引当金の増減額(は減少)	-	2,500
のれん償却額	-	2,893
貸倒引当金の増減額(は減少)	15,000	2,000
受取利息及び受取配当金	18,208	13,926
支払利息	298	5,295
為替差損益(は益)	378	198
持分法による投資損益(は益)	-	4,991
売上債権の増減額(は増加)	21,876	182,270
たな卸資産の増減額(は増加)	12,218	25,273
仕入債務の増減額(は減少)	3,648	247,627
未払消費税等の増減額(は減少)	9,890	6,287
その他	1,660	192,721
小計	71,575	186,802
利息及び配当金の受取額	10,425	10,616
利息の支払額	298	5,295
法人税等の支払額	130,326	130,879
営業活動によるキャッシュ・フロー	191,774	61,244
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	100,000
有価証券の売却及び償還による収入	200,000	1,500
有形固定資産の取得による支出	782	69,655
無形固定資産の取得による支出	-	14,800
投資有価証券の取得による支出	238,272	300
投資有価証券の売却及び償還による収入	100,000	-
保険積立金の積立による支出	31,844	24,042
その他	906	721
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,196	6,576

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	-	13,000
自己株式の純増減額(は増加)	194	329
リース債務の返済による支出	-	6,458
配当金の支払額	48,715	45,851
少数株主への配当金の支払額	9	2,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,918	68,097
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	212,496	13,429
現金及び現金同等物の期首残高	1,439,517	1,710,688
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,227,021	1,697,259

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
1. 持分法の適用に関する事項の変更	持分法適用関連会社 持分法適用関連会社の変更 当第1四半期連結会計期間より、TOA-ISM AUTO REFINISH PAINT LTD. は重要性が増したため、持分法適用の範囲に含めております。 変更後の持分法適用関連会社の数 1社
2. 会計処理基準に関する事項の変更	修繕引当金の計上 イサム土地建物株式会社において前連結会計年度よりマンション経営が行われたため、当第1四半期連結会計期間より「修繕引当金」を計上しております。 この変更により、営業利益、経常利益は2,500千円少なく計上されております。

【簡便な会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
棚卸資産の評価方法	当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、一部実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
輸出貿易信用状取引における銀行間決済未済の銀行手形 買取残高は8,755千円となっております。	輸出貿易信用状取引における銀行間決済未済の銀行手形 買取残高は8,064千円となっております。

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
運送費 55,737千円	運送費 46,672千円
宣伝費 55,286千円	宣伝費 38,339千円
役員報酬 21,535千円	役員報酬 22,833千円
従業員給料 164,603千円	従業員給料 161,563千円
賞与及び賞与引当金繰入額 45,513千円	賞与及び賞与引当金繰入額 42,719千円
福利厚生費 38,825千円	福利厚生費 38,090千円
役員退職慰労引当金繰入額 3,011千円	役員退職慰労引当金繰入額 4,414千円
退職給付費用 14,884千円	退職給付費用 22,248千円
減価償却費 18,181千円	減価償却費 25,069千円
支払手数料 33,224千円	支払手数料 62,351千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年6月30日現在)	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年6月30日現在)
現金及び預金勘定 2,807,021千円	現金及び預金勘定 3,289,259千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 1,580,000千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 1,592,000千円
現金及び現金同等物 1,227,021千円	現金及び現金同等物 1,697,259千円

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数
 普通株式 12,000,000株

2. 自己株式の種類及び株式数
 普通株式 1,831,720株

3. 新株予約権等に関する事項
 該当事項はありません。

4. 配当に関する事項
 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成21年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	51,258	5	平成21年3月31日	平成21年6月29日

5. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項
 該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当社グループは各種塗料の製造・販売を主事業としておりますが、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める塗料事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年6月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年6月30日)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(ストック・オプション等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
1株当たり純資産額	943.38 円	1株当たり純資産額	945.01 円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	9,822,556	9,841,860
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	229,956	231,639
(うち少数株主持分)	(229,956)	(231,639)
普通株式に係る四半期末(期末)の純資産額 (千円)	9,592,600	9,610,221
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期末 (期末)の普通株式の数(株)	10,168,280	10,169,411

2. 1株当たり四半期純利益

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	
1株当たり四半期純利益	4.99 円	1株当たり四半期純利益	3.67 円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
1株当たり四半期純利益		
四半期純利益(千円)	53,148	37,316
普通株主に帰属しない金額(千円)		-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	53,148	37,316
期中平均株式数(株)	10,652,353	10,168,846

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年8月8日

イサム塗料株式会社
取締役会 御中

清稜監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 竹村 明 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 松嶋 秀行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の平成20年6月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績並びに第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しています。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年 8月10日

イサム塗料株式会社
取締役会 御中

清稜監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 高橋 弘 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 松嶋 秀行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の平成21年6月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間の経営成績並びに第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しています。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。